

2024年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

資料⑤

法人名	介護の家 コスモス男山	代表者	三宅 悦子	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなに重度の障がいや認知症があっても介護を引き受ける。 ・利用者の従来の生活や価値観をできる限り尊重し、個別ケアを行う。 ・職員の人権感覚を磨き、利用者の人としての尊厳を守る。 					
事業所名	コスモス男山	管理者	西村 宜子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1	5		1	1		4		13

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族の希望をよく聞き、それに添ったケアをする。 ・家族支援という視点も大切に、家族の負担を軽減できるよう、介護のアドバイスや利用の日程などきめ細かに調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家族の状況に応じて、個別ケアができています。 ・利用者の目標やゴールは、介護職員が分担してわかりやすくまとめた個人ノートを作成し、共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、事業所運営への職員の参画度が高まってきている様子が伺える。 ・利用者への個別の対応が素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の情報や個別の対応の仕方を職員間で共有していく。 ・日々のレクリエーションもその日の利用者に合わせて工夫をこらして提供を続ける。 ・利用者のできることを大切に対応する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の花や野菜を楽しめるように、花壇の整備を行う。 ・利用者と共に室内の飾りを作成し、季節感を味わう。 ・換気を意識し、感染症対策を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の整備に努めた。 ・季節に応じた作品作りや壁画、花を活けて利用者の方に楽しんでもらった。 ・常に防災意識を持つようにし、不要なものは処分。安全に過ごせるような場所づくりをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所は、清潔感があり、排せつ臭もしない。 ・いつも季節の花や作品が飾られている、 ・物がよく整理されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇を整備して季節の花を楽しめる様にする。 ・季節に合わせた作品作りや窓の貼り絵を続ける。 ・防災の観上、外回りの物品の整理をする
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店が地域の居場所になるよう、工夫していく。 ・「オレンジカフェ」「健康・繋がりづくり事業」「地域講座」なども継続して開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講座や健康・繋がりづくり事業、オレンジカフェを開催し続けており、ボランティアの受け入れも続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一階喫茶は居心地が良いので、地域の人にもっと知ってもらえたらよい。最近利用者が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶の広報に力を入れ、近隣の方の居場所づくりを目指す。 ・ボランティアもこれまで通り受け入れていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康・繋がりづくり事業」や「オレンジカフェ」などを窓口にして地域の方の相談に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康・繋がりづくり事業」や「オレンジカフェ」にて、地域の方の相談に応じるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康・繋がりづくり事業」や「オレンジカフェ」で、地域の交流の場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェやきらっと☆シニア倶楽部も継続して開催し、地域の方々の交流や相談に応じる場とする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員から地域の情報を聞くなどして地域のニーズを把握する。 ・コスモス男山への率直な意見も伺う。 ・情報発信に協力依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会で、コスモス男山の現状を率直に伝えて、意見をいただいた。委員の方々には、様々な形で地域の方に情報発信してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員として協力したい。 ・利用者減対策としてコスモス男山の良さを広報してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の協力も得て、コスモス男山の認知度を上げる様に発信を続ける。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・策定したBCPを職員間で共有し、発災時の対応を話し合う。 ・災害時のワークショップを実施する ・避難訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPを使って災害の基礎から、減災対策を学ぶ職員研修を開催した。 ・感染症予防についても、委員会で対応を検討し、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時への体制づくりが進んでいるようで安心して 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したBCPを全職員で見直し、確認する研修を行うなどして、持続可能な事業所にしていく ・避難訓練を実施する。